



JSPS

# 博士課程教育 リーディングプログラムについて

独立行政法人日本学術振興会  
理事長 安西祐一郎

博士課程教育リーディングプログラムフォーラム 2015

2015.10.24

©Yuichiro Anzai



## 「博士課程教育リーディングプログラム」により 養成する博士人材像について

- ◆ 国内外の企業・公的機関・NPO等を中心として研究以外のフィールドでトップリーダーとして活躍できる人材
- ◆ 高い国際性・学際性をベースとして、俯瞰的な視点から社会的課題に挑戦し、解決に導ける人材
- ◆ 確かな研究能力をバックグラウンドに、イノベーションをけん引するプロジェクトをマネジメントできる人材
- ◆ 主体的に目標を立て、国内外の多様なステークホルダーを調整・統括して達成を図れる人材

# 「博士課程教育リーディングプログラム」について

## ◆ 申請件数・採択件数

平成23年度	申請101件	採択20件
平成24年度	申請124件	採択24件
平成25年度	申請102件	採択18件
	<hr/>	<hr/>
合計	327件	62件

## ◆ 関係委員・プログラムオフィサー人数(平成27年10月現在)

プログラム委員 26人

専門委員 86人

プログラムオフィサー 44人

## ◆ プログラムの進捗状況

平成25年度で採択は終了。平成26年度から中間評価を実施。

受講学生数：約3,300人(平成27年4月現在)

平成27年度修了予定学生数：299人(平成27年6月現在)

# 採択プログラムのフォローアップについて

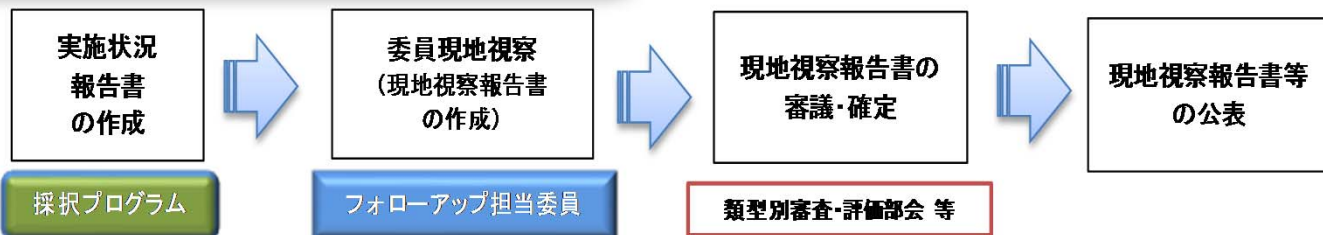
## 類型別審査・評価部会委員及びプログラムオフィサー (PO)によるフォローアップの実施

### 【フォローアップの実施方法・手順】

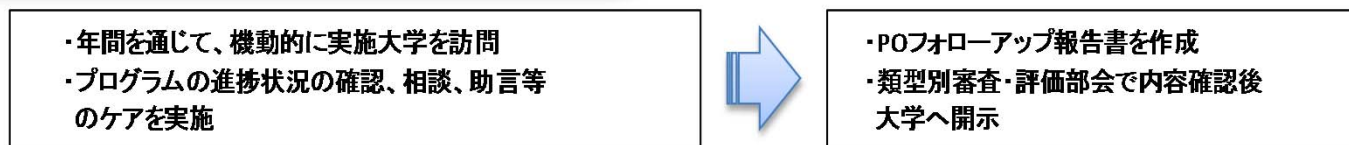
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
	委員現地視察		(中間評価)	委員現地視察		(事後評価)

PO現地訪問

### 委員現地視察(採択2年目と5年目に実施)



### PO現地訪問 等





# 平成23年度採択プログラムの 中間評価について①

## ◆ 中間評価の対象

・平成23年度に採択された全20プログラムについて  
中間評価を平成26年度(採択から4年目)に実施

## ◆ 評価項目

(ア)リーダーを養成する学位プログラムの確立

(イ)産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び  
活躍の実現性

(ウ)グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備

(エ)優秀な学生の獲得

(オ)世界に通用する確かな学位の質保証システム

(カ)事業の定着・発展

## ◆ 中間評価アンケート調査の実施

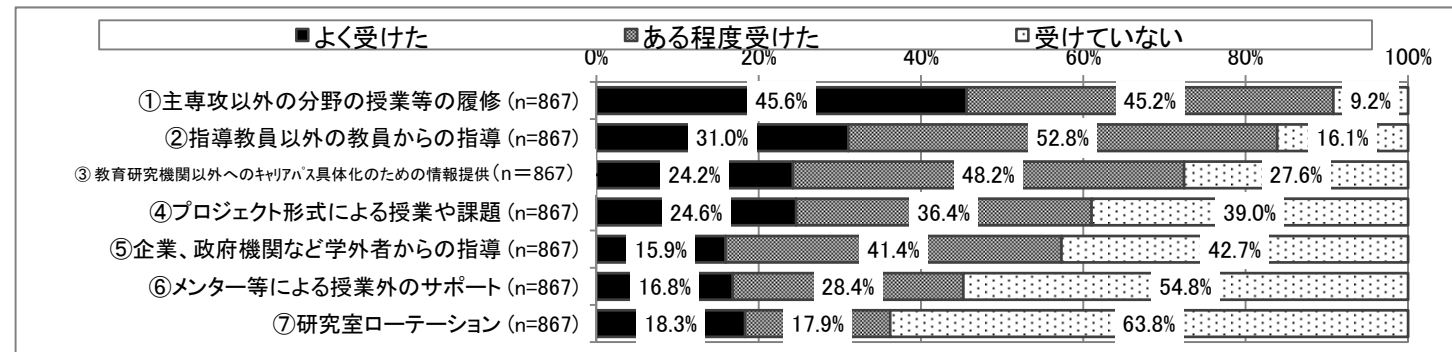
・全20プログラムについて、全学生とプログラム担当者  
のうち無作為に抽出した約3割が対象

・全プログラム合計1,079名(学生867名、プログラム  
担当者212名)が回答

・アンケートの調査結果を中間評価の資料として活用<sup>5</sup>

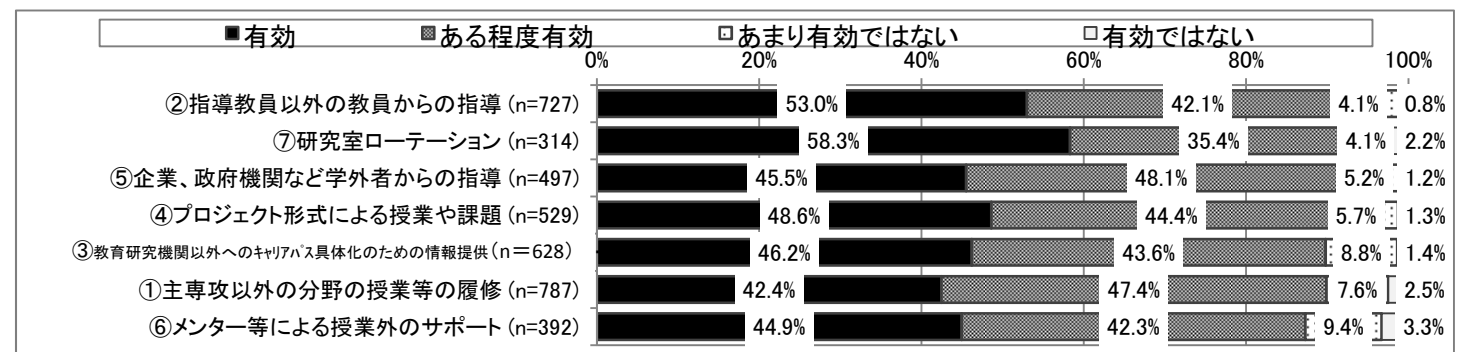
# 平成23年度採択プログラムの 中間評価について② アンケート調査結果

## 【質問】(学生)指導の内容



※ほとんどの学生が「主専攻以外の分野の授業の履修」や、「指導教員以外の教員からの指導」を受けている。

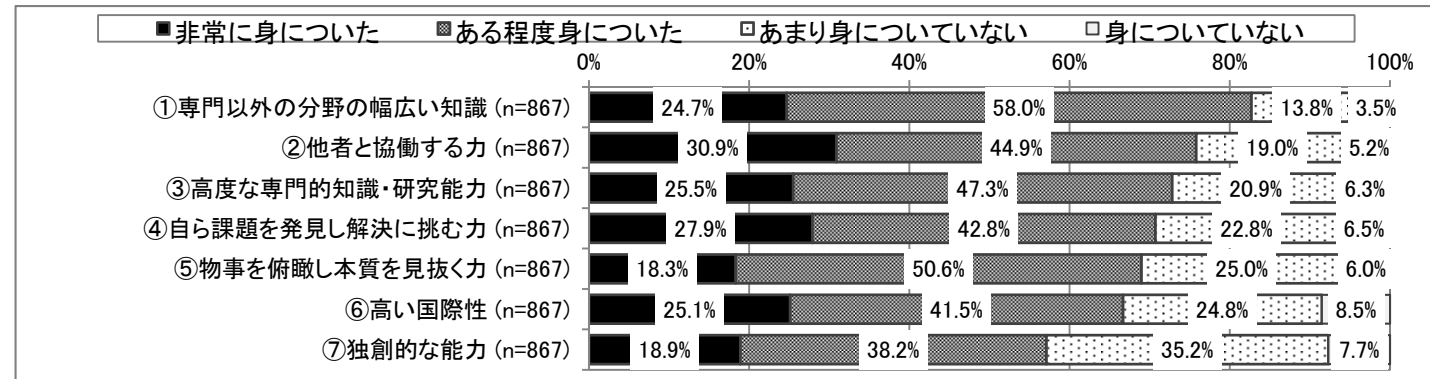
## 【質問】(学生)受けた指導の有効性



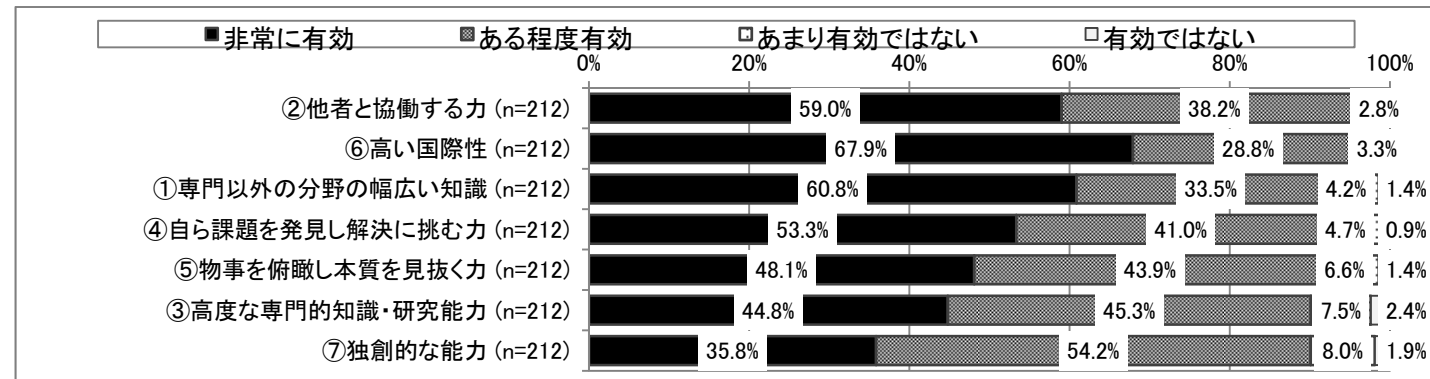
※上記で各指導等を「受けた」または「ある程度受けた」と選択をした学生を対象に集計した。いずれの項目についても半数前後が「有効」と回答しており、「ある程度有効」を合わせると9割前後が各指導等を有効と捉えている。

# 平成23年度採択プログラムの 中間評価について③ アンケート調査結果

## 【質問】(学生)プログラムで身についた能力



## 【質問】(プログラム担当者)身につけさせる能力のプログラムの有効性

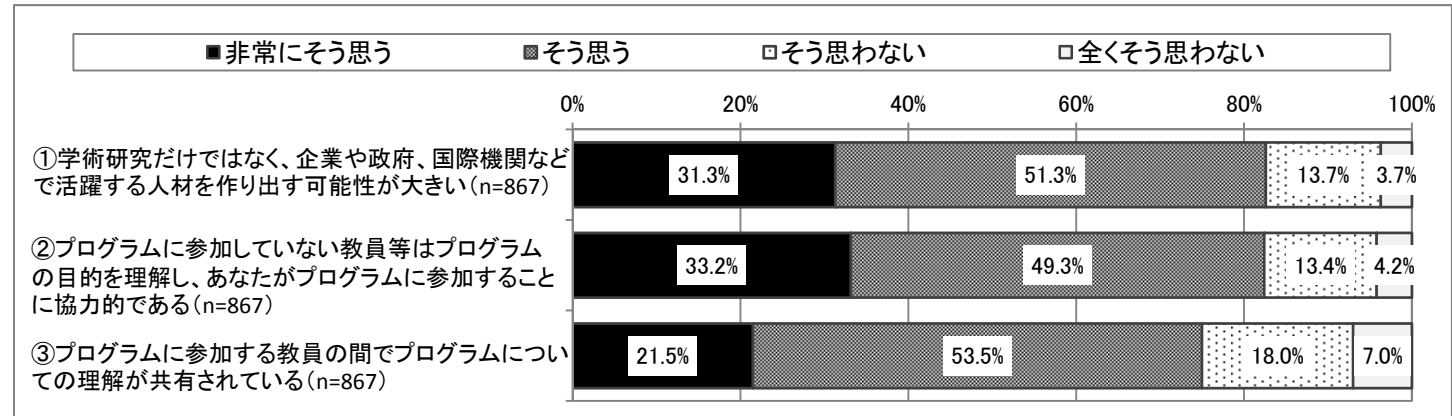


※学生が「身についた」とする能力と、担当者が「身につけさせるために有効」とする能力について違いが見受けられる。特に「①専門以外の分野の幅広い知識」「⑥高い国際性」については学生の「非常に身についた」と担当者の「非常に有効」を比べると差が大きい。

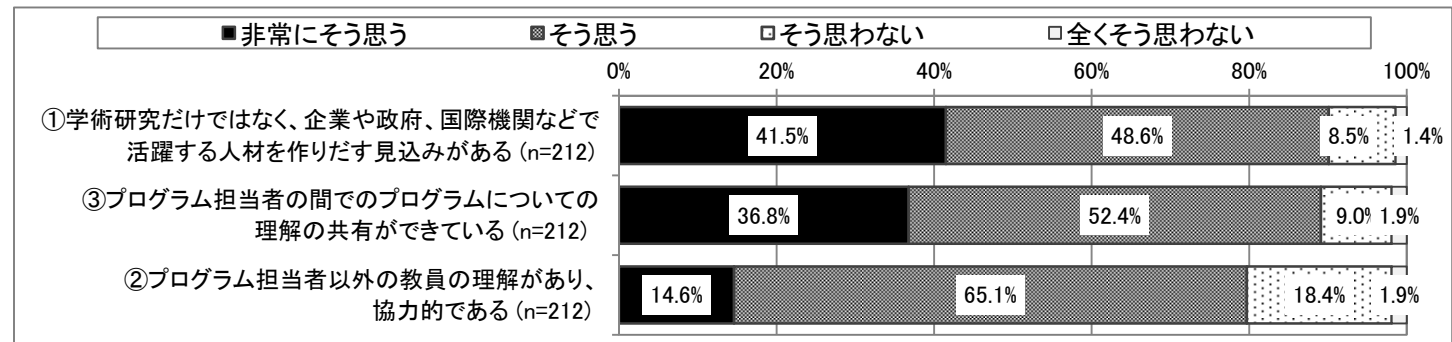


# 平成23年度採択プログラムの 中間評価について④ アンケート調査結果

## 【質問】産官民での活躍の可能性、プログラム内外との意識共有 学生アンケート



## 担当者アンケート



※学内全体への理解の共有については一定の進捗が見られるものの、プログラム担当者以外の教員の理解・協力については、学生・担当者ともに約2割近くが「そう思わない」または「全くそう思わない」と回答しており、更に一層の努力が必要と考えられる。



## 平成23年度採択プログラムの 中間評価について⑤

### ◆ 評価区分

「S」「A」「B」「C」「D」の5段階の絶対評価

### ◆ 評価結果

S : 3件      A : 9件      B : 8件

### ◆ 優れた取組や成果

- ・分野・研究科を越えた連携
- ・分野横断的なカリキュラムの整備
- ・学生による分野横断的な活動      等

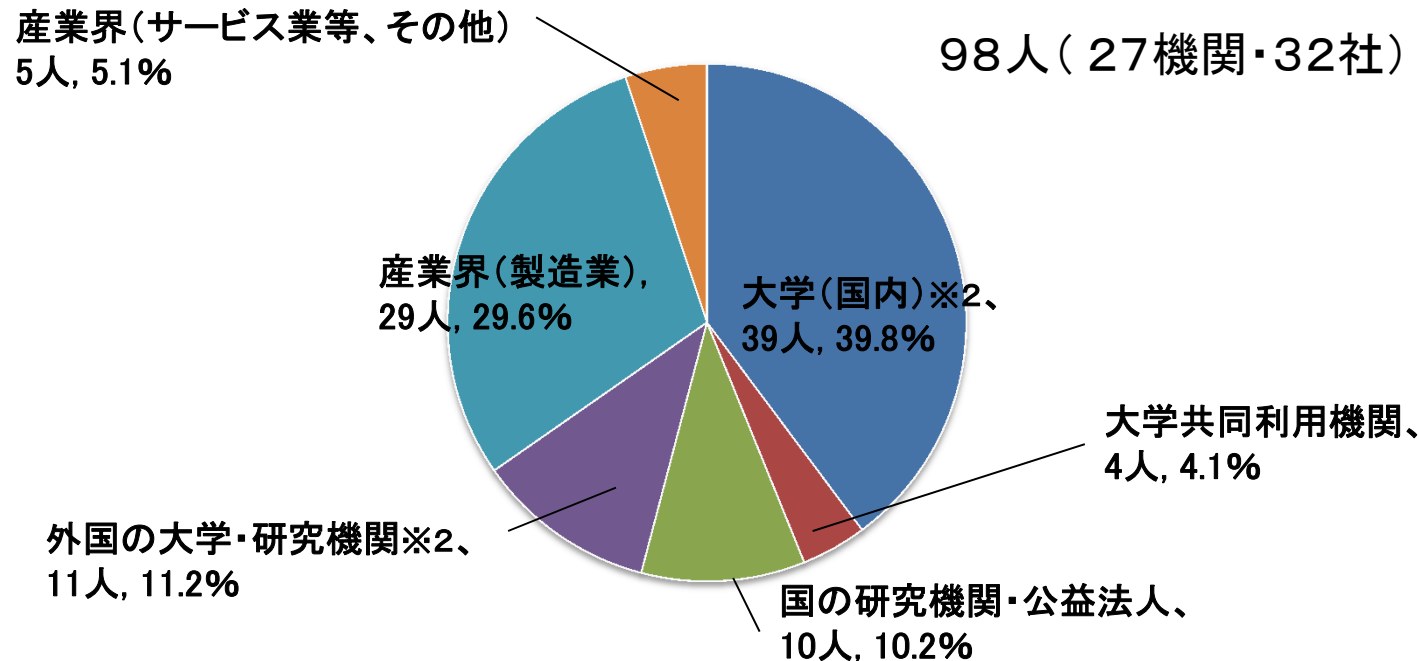
### ◆ 課題

- ・プログラム後半のカリキュラム整備・キャリアパスの提示
- ・関係者間の連携の強化と大学一丸となったプログラム運営
- ・プログラム継続に向けた検討      等

# 博士課程教育リーディングプログラム 修了者の就職状況

年度	修了者	就職者	就職率	修了者輩出プログラム数
平成25年度	1名 <sup>※1</sup>	1名	100%	1プログラム
平成26年度	97名	97名	100%	10プログラム

## 就職先



※1: D2年次での早期修了 ※2: 大学(国内)・外国の機関には学振特別研究員としての採用者を含む